

プロポリス特集

ニュージーランド産プロポリス

バッカリスやユーカリなどを起原植物とするブラジル産が国内市場の大半を占める中、ニュージーランド産プロポリスに注目が集まる。今年、ニュージーランドの同じ蜂産品であるマヌカハニーでは、過酸化水素以外の天然抗菌活性物質として「メチルグリオキサール(MGO)」が明らかにされた。そのMGOを抗菌グレードの指標としたのはマヌカヘルス社。同社はこの秋から日本市場に参入しており、プロポリスでも新たな研究データを取得。この一、二年の間に同社プロポリスの高い機能性が英国ウィリー国際学術誌「Phyto

therapy Research」に報告され

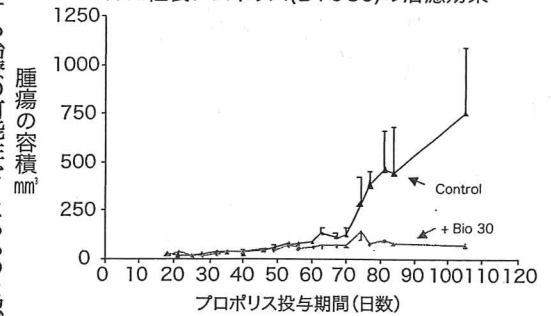
国際学術誌に機能性報告 ヒト臨床で抗腫瘍作用

ている。
論文を投稿したメルボルン在住のガン研究者である丸田医師は、神経線維腫(NF)、黒色腫、臓器ガン患者の七〇名に同社プロポリスを数カ月投与し、腫瘍の成長を抑制したことを観察。ヒトのNFを移植したマウスを使った実験では、プロポリス投与により腫瘍が一〇日間、九〇%以上抑制されたことも確認している。さらに、同プロポリスが「多発性骨髄腫やエイズ、脆弱X症候群



に対する治療の可能性を秘めている」とも記述する。また、丸田医師とドルス社CEOのケリー・ポール氏は、「同社プロポリスにはヒオフラポノイドを始め、抗酸化性、抗菌性、抗ウイルス性、防腐性の機能を持つ天然物質が含有している」と述べる。

■ヒトの神経線維を移植したマウスに対するマヌカヘルス社製プロポリス(Bio30)の治癒効果



間行い、プロポリス単独投与では腫瘍が二つ消失し、同混合投与では腫瘍が四つ消失したことが、抗がん作用はCAPEの働きに

ニュージーランド産で参入

シクロケム

(株)シクロケム(神戸市中央区)は、ニュージーランド・マヌカヘルス社と国内販売の独占契約を結び、同社プロポリス製品をグループ会社のコサナで販売する。

近日に上市するのは、プロポリス含有のキャンディや練り歯磨き、チンキなどで、タブレットやソフトカプセルは順次発売する。コサナの販売ルートで

あるデパートや薬局、ドラッグストアなどで展開していく予定だ。

また、シクロケムではプロポリス抽出エキスをアシクロデキストリンで包接して、プロポリス特有の臭いや味を改善させ、水への分散性も向上できることを明らかにした。今後は、さらに研究を重ねて新素材を開発したいとしている。

マヌカヘルス社CEOのケリー・ポール氏

は、NF移植マウスにプロポリスの単独投与、プロポリスとコーヒートフェネチルエステル(CAPE)の混合投与を六三日

に対する治療の可能性を秘めている」とも記述する。また、丸田医師とドルス社CEOのケリー・ポール氏は、「同社プロポリスにはヒオフラポノイドを始め、抗酸化性、抗菌性、抗ウイルス性、防腐性の機能を持つ天然物質が含有している」と述べる。